様式１

【金沢区】令和８年第３回区づくり推進横浜市会議員会議　議事録

開催日時	令和８年　９月　３日　　13 時　15 分　～　15 時　00 分
場　　所	金沢区役所　５階１号会議室
出 席 者	【議員：５名】　横溝　じゅん子　議員（座長）、 谷田部　孝一　議員、黒川　勝　議員、 竹野内　猛　　議員、坂井　太　議員 【金沢区：29 名】齋藤　真美奈　区長、瀧澤　朋之　副区長、 富田　千秋　福祉保健センター長、 渡邊　　誠　福祉保健センター担当部長、 渡邉　知幸　金沢土木事務所長、 三村　英明　金沢消防署長　　ほか関係職員
議　　題	１　令和７年度 個性ある区づくり推進費 決算 ２　令和８年度 個性ある区づくり推進費 執行状況 ３　令和９年度 金沢区予算編成の考え方 ４　その他 （１）令和８年度金沢区区民ニーズ調査（速報）
発 言 の 要　　旨	**１　令和７年度 個性ある区づくり推進費 決算** **２　令和８年度 個性ある区づくり推進費 執行状況** **竹野内議員：**金沢まつり花火大会について、打上げの約 30 分前に土砂降りとなり、急きょ中止になったことは、本当に残念であった。当日の来場者にけがや事故などがなかったのか、伺いたい。 **中盛地域振興課長：**当日は、救護所を利用した方が６名いた。主な内容は、熱中症の疑いや転倒によるすり傷等である。大きな事故や混乱はなかった。 **竹野内議員**：混乱の中で目立った事故がなかったことは、良かったと思う。齋藤区長をはじめ、区役所職員の皆様も、ずぶ濡れになりながら対応され

	たと思う。大変感謝する。 次に、パワーポイント資料４ページ及び 19 ページ「金沢若者ライフデザイン事業」について伺う。今年度は、市立金沢高校、横浜市立大学及び関東学院大学で実施するとのことである。昨年度に実施した２か所の様子を拝見し、いずれの取組も非常に有意義であると感じた。特に、横浜高校で実施した赤ちゃんや親子との触れ合いは、参加者にとって印象深いものになったのではないかと思う。 受入先である学校の都合もあると思うが、こうした取組を残しつつ、より多くの生徒や学生の皆様が参加できるよう工夫していただきたいと考えるが、いかがか。 **金井区政推進課長：**今年度のライフデザインセミナーの参加人数は、昨年度の約 150 人の２倍を超える 450 人以上に増加する見込みである。継続実施の関東学院大学では、昨年度と同様に 150 人程度の授業で実施を予定している。また、今年度から新規実施の横浜市立大学では 30 人程度、市立金沢高校では２年生全８クラス、300 人程度を対象に実施する予定である。 実施内容については、規模が大きくなる分、赤ちゃんとの触れ合い等は難しくなるが、区内の子育て家庭をゲストとしてお呼びし、日頃の子育ての様子や仕事との両立について話していただくなど、子育てに関する生の声を聞くことができるよう、工夫して実施する。 本事業は学生が職業・結婚・子育てに関する知識を得る貴重な機会として、着実に取り組んでいく。 **竹野内議員：**３歳児健診における目の屈折検査について伺う。昨年９月から、金沢区を含む６区でモデル事業が始まり、１年が経過した。弱視などの早期発見に有効な検査として、私たちも導入を求めてきた。これまでの事業の成果、評価及び課題があれば伺いたい。 **今井こども家庭支援課長：**３歳児健診を受診した方のほぼ全員が屈折検査を受検しており、要精密と判断された場合には、区から受診勧奨通知を発行し、眼科への受診勧奨を行っている。 令和７年９月の事業開始から令和７年度末までに 54 件、事業開始から令和８年８月末までの一年間の累計では 90 件の受診勧奨を行い、早期発

	見や治療につなげることができた。 　検査は短時間で終了するため、現在まで大きな混乱なく実施できている。今後も、必要な方が早期に適切な対応を受けられるよう努めていく。 **竹野内議員：**ヨコハマあんしん登録制度について伺う。この制度は昨年 11 月に登録が始まり、間もなく１年となるが、現在の金沢区における登録者数を伺いたい。 **小林高齢・障害支援課長：**令和８年７月 31 日現在の金沢区での登録者数は、132 人である。 **竹野内議員：**今年２月の区づくり推進横浜市会議員会議で確認した時点では、制度が始まって間もなかったこともあり、14 人とのことであった。現在の 132 人という登録者数は、決して少なくないと思う。 　特に、一人暮らしの高齢者の皆様にとって、もしものときの安心につながる大切な制度である。制度の意義をしっかり伝えるとともに、ウェブ上で登録できることや相談窓口があることなどを、さらに周知していただくようお願いしたい。 　次に、「セーフティタウンかなざわ推進事業」について伺う。道路交通法の改正により、自転車のながら運転や酒気帯び運転などに対する罰則が強化され、今年４月からは、いわゆる青切符による取締りも始まった。大人や子どもなど多くの区民から、何が違反になるのか、どこまで厳格に取り締まられるのか分からず、不安を感じるとの声を伺っている。 　こうした中、金沢区自転車マナーアップ小学生大会は毎年開催され、優勝チームが県大会に出場するなどし、子どもたちへの自転車ルールの啓発やマナーの向上に有意義な成果を上げている。交通安全協会の指導員も、学校と連携し、熱心に小学生を指導している。一方、協力する学校が年々減少し、大会が寂しくなって残念だという声も伺っている。 　より多くの学校及び児童が参加できるよう、区としてさらに積極的に働きかけるべきだと思うが、いかがか。 **中盛地域振興課長：**これまでも、大会の実施にあたり、各学校へ個別に参加を呼びかける取組を行ってきたが、今年度の参加者数は、参加校数３校、

	参加者数 26 人となっており、参加校の偏りが顕著になっている。 　また、地域からは、参加校が減少傾向にあり、事業の継続は難しいのではないかとのご意見もいただいている。 　引き続き、金沢交通安全協会と協議し、大会の今後の在り方を検討していく。 **竹野内議員：**法改正により区民が不安を感じている今だからこそ、時宜を捉えた取組をお願いしたい。 　次に、パワーポイント資料 26 ページ「金沢区観光振興事業」について申し上げる。横浜金沢観光協会の佐藤事務局長が退職されると伺っている。８年間、初代の常務理事兼事務局長として務められ、会長や理事からの信頼も厚く、どのイベントでも先頭に立って活動されてきた。地域や様々な団体との積極的なコミュニケーションを図り、金沢区の観光振興を大いに牽引していただいたと受け止めている。 　観光振興は、引き続き区政の大きな柱の一つである。来年度に向けた着実な予算の確保とともに、後任の事務局長についても、金沢区の観光事業をさらに盛り立てられる人材を選任していただくよう要望する。 　次に、パワーポイント資料 22 ページ「金沢防災えんづくり事業」について伺う。かなざわ強助隊と連携した地域防災拠点訓練を行うとのことであるが、具体的にどのような訓練を行うのか伺いたい。 **小柳総務課長：**令和８年９月 26 日に、並木中学校地域防災拠点において、かなざわ強助隊に加盟している横浜金沢キッチンカー協会との連携訓練を実施する予定である。 　具体的には、発災時を想定し、横浜金沢キッチンカー協会がビアレヨコハマで食材を調達した後、並木中学校へ搬送し、炊き出しを行う訓練を実施する。 **竹野内議員：**一昨年はペット同行避難、昨年は男女共同参画の視点を踏まえた避難所運営、今年は在宅避難をテーマにした地域防災拠点訓練や防災講演会を実施するとのことで、いずれも時宜を捉えた大切な取組だと感じている。 　７月には熊本県で大規模な地震も発生し、酷暑の中での避難生活や復旧

	作業など、新たな課題も浮き彫りになっている。区民が自分事として捉えられるよう、効果的な啓発をお願いしたいと思うが、いかがか。 **小柳総務課長：**在宅避難を区民一人ひとりが自分事として捉えられるよう、「広報よこはま金沢区版」９月号で在宅避難を特集し、周知及び啓発に取り組んでいる。 　また、地域防災拠点のブロック連絡会において在宅避難に関する研修を実施するとともに、各拠点の訓練でも、在宅避難に必要な事項を周知する予定である。地域防災拠点訓練の日程については、今年度から区のホームページで公開している。 　さらに、２月に開催予定の区民向け防災講演会では、熊本地震の被災地へ派遣された金沢区職員による報告などを予定しており、区民の皆様が自分事として捉えられる内容となるよう企画している。 **竹野内議員：**台風シーズンに備えた取組について伺う。８月 13 日には千葉県で、また、富山県、石川県などの北陸地方や秋田県でも、線状降水帯による長時間の大雨が発生した。家屋や自動車の浸水が多発し、多くの人命に関わる深刻な被害も生じている。 　改めて、気候変動の影響が本格的に現れていることを実感している。横浜市及び金沢区でも、警戒や対策の水準を一段と引き上げる必要がある。毎回お願いしているが、土砂災害、河川の氾濫及び内水氾濫への備えとして、現在できる対策について、土木事務所を中心に万全を期していただくよう、改めてお願いしたい。 　また、危険が予測される場合には、早めに避難の準備を呼びかける必要がある。避難場所の環境整備についても、さらに取り組んでいただきたいと思うが、いかがか。 **小柳総務課長：**早めの避難準備を促すため、「広報よこはま金沢区版」７月号で、警戒レベルごとの避難行動や風水害時の避難場所を周知した。 　今後も、広報よこはまでの啓発を継続するとともに、プッシュ型で情報が届く「横浜市避難ナビ」の普及を促進する。また、区ホームページに、防災情報の入手に特化した案内ページを設けるなど、分かりやすく迅速な情報発信に取り組む。

	風水害時の避難場所は、原則として食料や物資の支給を行っていないため、必要なものを各自で持参していただくよう周知している。 その上で、風水害の激甚化や長期化が想定される場合には、避難場所の状況や避難者のニーズを把握し、必要に応じて区災害対策本部から物資を搬送するなど、避難者の安全確保に努める。 **黒川議員：**パワーポイント資料９ページ「LINKAI 横浜金沢推進事業」について伺う。昨年度は、実際に何社かでマッチングが成立したとの説明があった。以前、企業側のニーズと働きたい方のニーズを分かりやすく示し、働きたい方が自分に合う企業を見つけられるような工夫が必要ではないかと申し上げた。 今年度の開催に向けて、工夫していることがあれば教えていただきたい。 **金井区政推進課長：**ふらっと LINKAI については、今年度も、ハローワークと連携して実施する予定である。これまで参加した方の声を聞きながら、どのような企業に声をかけるかについて、ハローワークと調整している。 すべてのニーズを満たすことは難しいが、企業側とも調整し、できる限り、求職者が参加したいと思える取組にしたいと考えている。 **黒川議員：**来場者には、女性、失業中の方、高齢者など、様々な方がいると思う。例えば、女性が働きやすい企業には女性が訪問しやすく、高齢者を求める企業には高齢者が相談しやすいような工夫が必要である。 参加しても、自分には関係がないと感じてしまえば、うまくマッチングできないと考えるが、その点はいかがか。 **金井区政推進課長：**ハローワークを中心に参加者を募集しているため、基本的には求職中の方が対象である。実際の参加者には、高齢者が多い状況である。このため、参加企業は若い方に限定した求人ではなく、年齢制限のない企業を中心に募集している。企業の募集条件についても確認し、できる限り、来場が見込まれる層に合った内容になるよう工夫する。 **黒川議員：**企業側と求職者側のニーズが合致し、必要とされる企業に自然

	に人が集まるよう、引き続き工夫をお願いしたい。 　次に、パワーポイント資料 10 ページ「区民や大学の活力を生かした地域支援事業」の「金沢子どもの夢実現プロジェクト」について伺う。非常にすばらしい取組だと思っている。今年度は２年目となるが、昨年度と比べた傾向や、進化した点があれば教えていただきたい。 **中盛地域振興課長：**「金沢子どもの夢実現プロジェクト」について、今年度は、４団体から応募があった。内容としては、「野島公園（室ノ木地区）にあわてんぼうのサンタがやってくる」や「うみそらスマイル」によるレモネード販売等、子どもたちが身近にできる支援や販売活動を中心とした提案が多い傾向にある。 　大人から取組内容を示すのではなく、子どもの自主性や考えを尊重したいと考えているため、区から新たな仕掛けを設けることは、特に行っていない。 **黒川議員：**昨年度、金沢文庫芸術祭を見に行った際に、このプロジェクトに採択された子どもたちが一生懸命に衣装を作っていた。非常に良い取組だと思ったが、今年度も実施するのか。 **中盛地域振興課長：**今年度は、衣装を作る団体からの応募はなかった。一方、今年度は、手作り品をマルシェで販売する取組などがある。 **黒川議員：**横浜市こども・子育て基本条例に基づくこどもの意見の反映状況等報告書を拝見した。このプロジェクトは、子どもの意見や考えを実際に実現する、夢のあるすばらしい取組である。 　しかし、報告書には、アンケートを行ったことが中心に記載され、子どもがどのような意見を述べ、それをどのように実現したのかが十分に表現されていない。この事業は、単に子どもの意見を聞くだけではなく、その意見を実現するという、一歩進んだ事業である。他区にも広がり、同様の取組が行われることを期待している。今後は、報告書の書き方についても工夫するようお願いしたい。 　次に、パワーポイント資料 11 ページ及び 29 ページ「「寄り道×Kanabun」整備事業」について伺う。金沢文庫駅西口駅前スペース「ぼたんちゃん広

	場」で喫煙する方が少しでも減ると良いと思っているが、朝に訪れると、現在も喫煙している方がいる。 横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例の改正により、令和９年１月から、道路等の屋外の公共の場所における喫煙に関する制度が変わる。この場所は喫煙が禁止されるものの、過料を科さない場所に該当すると思う。禁止されても過料がなければ、注意してもやめてもらえないことが予想される。 特に、来年、横浜グリーンエクスポが開催されるが、大阪を前例として、公共の場所は禁煙であるということを、大阪や横浜が率先して実践していこうとしている。喫煙させないために、どのような啓発を行い、どのような工夫をするのか、伺いたい。 **岡本資源化推進担当課長：**金沢文庫駅周辺の喫煙対策として、路上喫煙パトロールの実施や受動喫煙防止の駅頭キャンペーンを実施している。これまでの取組に加え、令和９年１月の条例改正に向け、引き続き関係各局と連携し、喫煙パトロールの強化や収集車を利用しての広報を行っていく。 令和７年度は、金沢区を含む南部方面で 684 回のパトロールを行っているが、今後は回数を増やす予定である。喫煙所の整備については、まちづくりの視点、路上喫煙の実態調査、駅の乗降客数及び周辺の人流を踏まえ、区局と連携して総合的に判断する。 **黒川議員：**令和９年１月以降は、この場所は禁煙であることを明記した掲示が必要である。また、パトロール中に喫煙者がいた場合に、実際に注意するのかも明確にする必要がある。対応をあらかじめ考えておかなければ、周囲の方とのトラブルになる可能性がある。その点はいかがか。 **岡本資源化推進担当課長：**パトロール時に喫煙している方がいた場合には、パトロール員から喫煙をやめるよう注意する。すぐにやめていただけない場合にも、繰り返しお願いしながら対応する。 掲示については、のぼり旗や横断幕により周知する。そのほか、デジタルサイネージなど、様々な広報媒体の活用も検討する。また、多くの観光客が訪れる場所でも、周知に取り組む。

	黒川議員：令和９年１月以降、喫煙する方がいなくなるよう、しっかり取り組んでいただきたい。特に問題となっている金沢文庫駅周辺及びぼたんちゃん広場については、集中的に対応するようお願いしたい。 　次に、パワーポイント資料 25 ページ「金沢区制 80 周年記念事業」について伺う。以前、地域で活動する若い世代や団体を、どのように記念事業に取り込むのか工夫してほしいと申し上げた。その後の取組、声のかけ方や具体的な提案などがあれば教えていただきたい。 **小柳総務課長：**７月に周年事業の実行委員会を設立し、その中に３つの部会を立ち上げている。実行委員会の構成員には、希望により各部会へ参画していただくよう声をかけ、現在、取りまとめを行っている。 　一方、実行委員会の構成員ではないものの、ここ数年、地域で様々な活動をしている団体や若い方々の意見も、しっかり聞きたいと考えている。例えば、イベント部会では、検討テーマに応じて、そのような方々を招き、意見を伺うことを考えている。 **黒川議員：**そうした方々は、様々な意見やスキルを持っている。その力をうまく生かし、多くの方を巻き込みながら、金沢区のみんなでつくるお祭りとなるよう取り組んでいただきたい。（意見のみ） **坂井議員：**決算について伺う。パワーポイント資料３ページ「令和７年度区づくり推進費決算区分別総括表」の自主企画事業費の不用額は、前年度やここ数年と比較して、どのような状況であるか。 **小柳総務課長：**自主企画事業費の不用額は約 500 万円で、昨年度と比べて若干多くなっている。主な理由として、委託をする事業について、入札の結果、当初の見込みより契約額が低くなったことがある。また、機能やサービスを維持しながら、より安価な仕組みに見直した事業もある。 　一方、事業の進行が遅れたことなどにより、当初の見込みどおりに予算を執行できなかった事業もある。不用となる見込みを年度途中で早期に把握し、可能な限り他の事業に予算を活用できるよう努めているが、結果として、今回の不用額が生じた。

	坂井議員：不用額について、この程度は残しておこうという考えの下で、予算を執行していることはないのか。 **小柳総務課長：**一定額を残すことを見込んで予算を執行したのではない。市民の皆様からお預かりした税金を財源とする予算であり、今後も、不用額をできる限り縮減できるよう、適切な予算執行に努める。 **坂井議員：**なるべく不用額をゼロに近づけるようお願いしたい。 　次に、パワーポイント資料４ページ「金沢若者ライフデザイン事業」のアンケート結果について伺う。「どちらともいえない」と回答した方がいるが、ほかの設問への回答も含め、この回答をどのように分析しているのか。参加して良くなかった、楽しくなかったという方もいるのではないか。 **金井区政推進課長：**この取組は、子育てや仕事の実情を知るなど、これまでの授業ではあまり扱われていない内容を学ぶ。受講者からは、意義を感じたという前向きな意見が多く、否定的な意見は少ない状況であった。 　また、楽しくなかった、実施しない方が良かったといった意見はなかった。 **坂井議員：**パワーポイント資料５ページ「かなざわっこを共に育む応援プロジェクト」のアンケートについて伺う。左側の 22 人と右側の 18 人は、同じ対象者であるか。 **渡邊学校連携・こども担当課長：**左側の 22 人は、実際に研修へ参加した方を対象としたアンケートである。右側の 18 人は、参加者を送り出した施設長を対象としたアンケートである。そのため、それぞれ別の方を対象としている。 **坂井議員：**２つのアンケート結果のうち、「変わらない」と回答した人数は同程度だったということになるが、施設長から、無駄だった、実施しない方が良かったという意見はなかったのか。 **渡邊学校連携・こども担当課長：**施設長のアンケート結果の「変わらない」

	という回答は、保育について語る機会が増えたかどうかという設問への回答である。取組が無駄だった、実施しない方が良かったといった否定的な回答はなかった。 **坂井議員：**反対意見や否定的な回答の中にも、今後の改善につながる意見が含まれていると思う。 　次に、パワーポイント資料 11 ページ「「寄り道×Kanabun」整備事業」について、アンケート結果では、「印象が良くなっていない」と回答した方がいる。整備を行ったにもかかわらず、なぜ印象が良くなっていないのかを分析し、その理由も示していただきたい。 **金井区政推進課長：**現時点では、その理由まで分析できていない。なぜ印象が良くなっていないと感じているのかは重要な点であるため、今後、注視する。 **坂井議員：**公共の場所での喫煙に関する話があったが、今後は、飲酒についても、同じように問題となる可能性があるのではないかと考えている。金沢区では、路上で飲酒して騒いでいる人をほとんど見かけないが、街中での飲酒や、それに伴う迷惑行為が問題となれば、注意や対策が必要になることも考えられる。今後の課題として意識していただきたい。 　アンケートの取り方や結果の示し方についてだが、さらに工夫していただきたい。例えば、先ほどの説明にあった、「かなざわっこを共に育む応援プロジェクト」のアンケートだが、６割が肯定的に回答したと説明されても、残りの４割がどのように考え、なぜ肯定的な回答をしなかったのかが分からなければ、課題を十分に把握することはできない。 　肯定的な回答を中心に示したいという意図は理解できるが、それだけではなく、否定的または中立的な回答の理由についても分析し、そこから明らかになった課題や改善点を説明していただきたい。アンケート結果を示す際には、もう一歩踏み込んだ分析と説明をお願いしたい。 　次に、デジタル化の推進について伺いたい。本日のような会議の議事録は、録音データから自動的に作成しているのか。それとも、職員が発言を書き取っているのか。

	小柳総務課長：業務用端末には、リアルタイムで音声を文字起こしする機能があるが、現時点では精度に課題があり、各議員の発言を個別に識別することなどが十分にはできない。このため、端末による文字起こしを行った後、どの議員の発言であるかなどを職員が確認している。今後、精度や機能は向上していくと考えている。 **坂井議員：**不登校支援について伺いたい。以前は、学校へ行くことを強く求める傾向があったが、現在は、学校へ行かなくても良いという方向に変わってきたように見えるが、どのように考えているのか。 **渡邊学校連携・こども担当課長：**平成 28 年に教育機会確保法が制定され、学校以外の場所でも教育を受ける機会を確保するという考え方が示された。現在は、必ずしも学校だけを学びの場とするのではなく、学校以外の場所も含めて、学びの機会を確保する方向になっている。 **坂井議員：**不登校は非常に繊細な問題である。一人ひとりの状況を踏まえ、適切に支援していただきたい。（意見のみ） **谷田部議員：**パワーポイント資料 20 ページ「終活きっかけづくり事業」について伺う。高齢者本人が元気なうちに、人生のしまい方に関する知識や心構えを楽しく学べるツールを作成し、活用するとのことである。どのように活用し、最終的にどのような段階まで取組を進めるのか、伺いたい。 **金井区政推進課長：**学生の意見を聞きながら、ゲーム形式のツールを制作する。講演会では、参加者によって受け止め方に差が生じる場合があるが、ゲーム形式のツールを使用すれば、参加者同士で対話しながら進められるため、自分事として捉えやすい利点がある。 　完成後は、地域ケアプラザなどで繰り返し使用することを想定している。今年度はツールを制作し、その後は普及に力を入れる。 **谷田部議員：**パワーポイント資料 21 ページ「ポジティブ・エイジング応援事業」の成年後見制度研修について伺う。12 月から２月までの実施とあるが、何回程度開催し、何人程度の参加を想定しているのか。また、ケアマ

	ネジャーなどとあるが、具体的にどのような団体を対象とするのか。 **小林高齢・障害支援課長：**年度末に向けて、複数回の開催を検討している。現在は計画段階であるが、主に介護サービス事業者や民生委員、ケアマネジャーなどの支援者を対象とする予定である。 **谷田部議員：**研修を実施するだけで終わらせず、最終的にどのような段階まで進めるのか。 **小林高齢・障害支援課長：**支援者が、成年後見制度の利用を必要とする方を専門家につなげられるようになることを目標としている。支援者自身が全てを解決するのではなく、適切な相談先や専門家を把握し、必要な方をつなぐことができる状態を目指す。 **谷田部議員：**弁護士や行政書士などの専門職が成年後見人として活動しているが、この研修をどのように位置付けるのか。 **小林高齢・障害支援課長：**まず、成年後見制度がどのような制度であるのかを理解していただくことを目的としている。現在も専門職が集まる研修を行っているが、今後は顔の見える関係を生かしながら、より具体的な連携につなげていきたいと考えている。 **横溝議員：**市長選挙について伺う。10 月 18 日に投開票が行われるが、運動会や防災訓練などと重なる時期である。また、いきいきフェスタの翌日でもあるが、地域行事への影響は見込まれているのか。 **小柳総務課長：**投票所の確定に向け、各施設や学校と調整している。一部、地域行事と日程が重なっており、施設管理者や行事の主催者などが調整中の場所があるが、行事が変更になったという確定情報については、現時点で区が把握しているものはない。 **横溝議員：**他区では、行事を延期または中止するとの話もある。状況が分かり次第、情報提供をお願いしたい。

	次に、横浜市主催のアジア太平洋循環都市フォーラムに関連して申し上げる。同フォーラムに参加するため、パシフィコ横浜を訪れた。会場では、海外からの参加者の熱気を強く感じた。既に横浜市内に滞在している参加者もいると思うので、そうした方々が金沢区にも足を運んでくれることを期待している。 次に、SNS による情報発信について伺う。今回、Instagram を活用した取組として、４人が「横浜金沢広報サポーター」に選ばれたとのことである。私自身、Instagram はあまり利用しておらず、情報を受け取る際には、Facebook やＸを利用することが多い。金沢区は平均年齢が比較的高く、Facebook などを利用している方も多い印象がある。 そこで、Instagram を利用していないために情報を受け取ることができない方に対して、どのように情報を届けていくのか伺いたい。また、今後、このプロモーション事業を Instagram 以外の SNS にも広げていく考えがあるのか、併せて伺いたい。 **金井区政推進課長：**Instagram 利用世代以外の区民に対しては、従前から金沢区ではＸや LINE といった SNS ツールを主軸に行政情報の発信を行っている。今回の「横浜金沢広報サポーター」の取組は、区内在住の 10 代及び 20 代に対する効果的な行政情報の発信を狙いとして、Instagram を活用するとした。 今後、取組の効果を検証した上で、ほかの SNS の活用や媒体の拡大についても検討する。 **横溝議員：**八景島シーパラダイスやスターバックスなどを目的に、多くの観光客が金沢区を訪れている。しかし、そうした方々が区内の商店街にも足を運ぶなど、相乗効果につながる取組は、まだ十分でないと感じている。 観光客の来訪を区内の商店街や事業者の利用につなげられるよう、SNS を活用した発信を工夫していただきたい。 次に、おでかけシャトルについて伺う。先日、東朝比奈・六浦地区におけるおでかけシャトルの利用状況について、利用者数が伸び悩んでいるとの報道があった。 他の地区では利用者数が増加し、目標を上回っていると聞いているが、東朝比奈・六浦地区については、利用促進が大きな課題であると感じてい

	る。現在利用している方からは、今後、運行が終了するのではないか、運行規模が縮小されるのではないかとの不安の声もあると思う。 　現在の利用状況や今後の見通しについて、伺いたい。 **金井区政推進課長：**東朝比奈・六浦地区で運行している「乗合バス」の目標値は、１日あたりの乗車人数を 136.6 人としている。運行当初の令和８年４月の実績は１日あたり約 36　人だが、８月は約 72　人となっている。月を追うごとに伸びているが、現時点では目標値に達していない。今後も状況を確認しながら、関係局と連携し、利用促進を支援する。 **横溝議員：**SNS による情報発信とも関連するが、区外の方にもおでかけシャトルを利用していただけるよう、沿線でのイベントを増やすとともに、その情報を積極的に発信していただきたい。イベントへの参加をきっかけとして、おでかけシャトルを利用する機会が増えることを期待している。私自身も、SNS などを活用し、地域のイベントやおでかけシャトルの周知に協力していきたい。（意見のみ） **３　令和９年度 金沢区予算編成の考え方について** **竹野内議員：**令和９年度の予算編成の考え方のうち、今年度までの内容から変更した点や、新たに強調した点があれば伺いたい。 **齋藤区長：**基本的な枠組みは、今年度と同じである。ただし、私自身が大きな課題と考えているのは、子どもに関する取組である。毎年度、新規事業を組み立ててきたため、これらを着実に実らせ、成果につなげたいと考えている。 　「子どもの夢実現プロジェクト」のように、子どもが主体となる取組を大切にする。一方で、学校へ行くことができずにいる不登校の子どもへの支援は、まだ始めたばかりである。これらについて、しっかり取り組む。 　また、横浜グリーンエクスポに関連する環境の取組も重要である。花火大会の豪雨や各地での被害を見ると、温暖化の影響を感じる。花火大会の会場で大量に発生するごみも含め、環境の問題は待ったなしである。一つ一つの課題に着実に取り組むことが大切だと考えている。

	黒川議員：子ども・子育て関係の施策をホームページで効果的に広報していただきたい。引っ越し先を探している方が金沢区のホームページを見た際に、面白い取組がある、環境が良く、充実した支援を受けられると感じ、金沢区に住みたいと思えるような情報発信が必要である。「横浜金沢広報サポーター」なども活用し、実施している取組を区外の方にも知ってもらえるよう工夫していただきたい。 　次に、令和９年度金沢区個性ある区づくり推進費の予算編成の考え方（案）の「２　重点項目取組」の３つ目の「暮らしの安心・安全」に関連して、海の公園のトイレ火災について伺う。公園に防犯カメラを設置するとの話を聞いているが、具体的な時期については、「近いうちに」としか説明されていない。 　海の公園だけではなく、野島公園や富岡総合公園などの大きな公園にも、防犯カメラが必要な時代になっている。区役所からも関係局へ強く働きかけ、具体的な回答を引き出していただきたいと思うが、いかがか。 **齋藤区長：**海の公園のトイレ火災については、区としても強い課題意識を持っている。防犯カメラについては、関係局に強く働きかけてきた。当初、関係局は慎重な姿勢であったが、議員の皆様の働きかけもあり、設置する方向になったと認識している。設置時期については、年度内と聞いている。 **小柳総務課長：**早期に設置されるよう、引き続き、区からもみどり環境局へ働きかける。 **黒川議員：**野島公園や富岡総合公園でも、同様の事案が発生する可能性がある。同じ危機感を持って対応していただきたい。 　次に、４つ目の「まちの魅力づくり」の多様な主体と連携した魅力あるまちについて伺う。今年度は、ビアレヨコハマのニコニコランドやふれあい広場、スターバックスコーヒーができた旧長濱検疫所一号停留所の交流スペースなど、区民が活動に利用できる場所が増えている。 　こうした施設と区役所が連携し、金沢区のホームページに利用可能なスペースの情報を掲載して、各施設の案内ページへのリンクを設けてはどうか。何か活動をしたいと考えていても、適当な場所を見つけられない方に

	対し、活動内容や希望に合った場所を案内できる仕組みがあると良いと考える。 　また、ベイサイドマリーナには講演などに利用できるスペースがあり、南部市場にも、キッチンや交流スペースがある。 　そこで、区役所が商業施設や事業者と地域で活動する方々との間に入り、活動内容に応じて利用できる場所を紹介するなど、両者を結び付ける仕組みをつくっていただきたい。地域の方が何かに取り組みたいと考えた際に、人が集まりやすく、活動に適した場所を案内できるような工夫や取組が必要だと思うが、いかがか。 **金井区政推進課長：**今年度は地域住民が活用できる交流スペースが立て続けにオープンしており、区内で活用可能な貴重な資源として、区庁舎内の各課に情報共有を行っている。今後、区としても、そのスペースを有効に活用できないかの検討を各課で進めていく。 　また、区民の皆様からの問合せに対し、利用ニーズに応じた適切なご案内ができるよう努める。また、地域振興課が所管する、市民活動や生涯学習活動の支援を行っている金沢区民活動センター「ゆめかもん」に金沢区内のイベントスペースに関する相談が寄せられた際は、こうした新たな施設のご案内ができるよう、情報把握に努め、利用促進につなげていく。 **黒川議員：**脱炭素の取組について、金沢区の特徴を生かし、ブルーカーボンについて取り組んでいただきたいと思うが、いかがか。 **金井区政推進課長：**ブルーカーボンについては、海に囲まれた金沢区に関連の深い取組である。現時点で具体的に申し上げられる事業はないが、海にちなんだ取組を進めたいと考えている。ブルーカーボンの視点を持って検討する。 **４　その他** **（１）令和８年度金沢区区民ニーズ調査（速報）** （質疑・意見なし）

	横溝議員：他にご意見がなければ、以上で議事を終了する。本日の議事内容の市会報告については、座長へ一任していただいてよろしいか。 （異議なし） **横溝議員**：そのほか事務局から何かあるか。 **小柳総務課長**：事務局からは特にない。 **横溝議員**：以上で本日の議題を終了する。
備　　考	